



宮崎研修（鵜戸神宮・飫肥城）

2015年8月23日実施
JGA 第四支部研修レポート



8月23日（土）10:00、晴天に恵まれた朝、JR 宮崎駅に各地から14名の通訳案内士が集まり、今年1月の大分研修に引き続き九州は宮崎での研修が開催されました。宮崎の日南地方は昨今クルーズ船が到着し、外国人客も増えつつあるところ。そんなトレンドイな地域での研修に、九州在住の方々はもとより、首都圏や中部地方、関西からも参加がありました。

第四支部運営委員の南眞里子さんのお世話のもと、研修スタート。バスの中で宮崎県ご在住の英語通訳案内士である高島講師の宮崎の概要説明から始まり、歌あり、「おちちあめ（お乳飴）」の試食あり、山ほどのグッズをご持参され、素晴らしいガイドテクニックまでも披露してくださいました。東国原知事で有名になった県庁前も通りました。



最初に、ツアーでよく休憩所として使われる「道の駅フェニックス」へ立ち寄り、その素晴らしい景色とともに多くの参加者が美味しい海老ソフトクリームやマンゴソフトクリームを堪能しました。

2か所目は「鵜戸神宮（うどじんぐう）」。太平洋に突き出した鵜戸崎岬の突端に位置し、洞窟の中に、朱塗りの色鮮やかな御本殿がご鎮座する珍しい神社を宮司様の汗だくのご案内で見学、参拝。太平洋の鮮やかな青い海に、真っ赤な朱色の建物のコントラストが素晴らしく、南国宮崎らしい神社。まさに「宮崎」つまり海岸にお宮がある県を実感。

3か所目は「飫肥城（おびじょう）」。飫肥は「九州の小京都」と呼ばれ、飫肥城下の町並みが九州で最初の、国の「伝統的建物群保存地区」に選定されている景観素晴らしいエリアです。お城のガイドさんにより城内を詳しくご案内していただきました。「あゆみちゃんマップ」にある券を利用して飫肥の城下町を散策しながら、有名な「おび天」「日向夏ジュース」等、地元の美味しい食べ物等も頂きました。



上げ膳据え膳の研修の翌日はオブショナルツアー。九州といえば「焼酎」ですが、モンドセレクションでもいくつも金賞を受賞している焼酎を造っている「京屋酒造」を訪れました。雨天のため、惜しくも「猪八重溪谷トレッキング」実施がかないませんでした。代わりにネイチャーガイドさんのお話を聞き有意義な時間を過ごしました。「宮崎」での研修は、参加者だけが実感できる実にJGAらしい貴重な研修でした。九州に乾杯！